

平成28年度事業報告

1. 基本方針

日本包装学会の目的は、学会会則にあるように、包装にかかわる各種材料、加工、機械、システム、製品、検査、流通、デザイン、心理、環境、社会等の科学及び技術の進展をはかり、もって学術文化の向上と産業の発展に寄与することにあります。

平成28年度は、これまでの活動実績を踏まえ、「包装学の深化と体系化、社会の要請に応えうる開かれた学会づくり、包装分野を担う次世代人材の育成」に力を注いできました。包装学の深化と体系化に向けた編集委員会の取り組みとして、日本包装学会誌に「総説」を継続的に掲載するためのシリーズ化を図りました。また、研究委員会の活動の中で、新たな研究会として若手研究者・技術者等で構成する「若手の会」を発足させ、交流の場と機会を通じた次世代人材育成にも努めました。加えて、ホームページの情報更新を適時に行うことで、学会活動に理解を深めていただくなど、学会の活性化につなげることができました。

平成28年度は大会を神戸で開催し、口頭発表35件、ポスター発表21件、あわせて56件の演題数、参加者246名と大きな成功を収めました。さらに、シンポジウムの開催、学会誌の刊行(6冊)の他、学会ホームページ充実による情報発信機能の強化も引き続き行ってまいりました。

2. 学会運営の経過

2-1. 通常総会

- ・ 日時:平成28年7月8日(金) 9:00～
- ・ 場所:神戸大学 百年記念館
- ・ 議決権: 出席者 34、委任状数 168、有効議決件数 202

2-2. 理事会

- ・ 第77回:平成28年6月7日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第78回:平成28年7月8日 神戸大学 瀧川記念学術交流会館
- ・ 第79回:平成29年2月21日 東京海洋大学 越中島会館

2-3. 会長補佐会議

- ・ 第85回:平成28年4月26日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第86回:平成28年6月7日 東京海洋大学 越中島会館(臨時開催)
- ・ 第87回:平成28年11月22日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第88回:平成29年1月 メール審議

3. 各委員会の活動

3-1. 編集委員会

委員会開催

- ・ 第153回 平成28年 5月20日 八重洲倶楽部
- ・ 第154回 平成28年 7月11日 八重洲倶楽部
- ・ 第155回 平成28年 9月16日 八重洲倶楽部
- ・ 第156回 平成28年11月14日 八重洲倶楽部
- ・ 第157回 平成29年 1月16日 八重洲倶楽部
- ・ 第158回 平成29年 3月13日 八重洲倶楽部

学術雑誌「日本包装学会誌」の発刊

- ・ 第25巻第2号(平成28年 4月号)
- ・ 第25巻第3号(平成28年 6月号)
- ・ 第25巻第4号(平成28年 8月号)
- ・ 第25巻第5号(平成28年10月号)
- ・ 第25巻第6号(平成28年12月号)
- ・ 第26巻第1号(平成29年 2月号)

3-2. 企画委員会

シンポジウムを以下の通り3回開催した。

- ・ 平成28年6月7日 第70回「食品ロスと包装設計～現状を見つめ直す～(4題)」
- ・ 平成28年10月6日 第71回「療現場が求める医薬品包装—医療過誤、情報伝達、調剤、訪問看護—(5題)」
- ・ 平成29年2月28日 第72回「美しき機能パッケージングを目指して—魅力・感動あるパッケージデザインする方法を考える—(5題)」

また、各シンポジウムの準備およびその状況に関する確認と委員間の意思統一を図るため、企画委員会を4回開催した(第116～119回)。平成28年5月19日、9月15日、12月2日、および平成29年2月2日(平成29年度向け)

3-3. 研究委員会

5つの研究会(バリア材料、輸送包装、青果物鮮度保持包装(MAP)、包装とICT、若手の会)が活動しており、それぞれの活動状況は次のとおりである。

- ・ バリア材料研究会 第22回バリア材料研究会を平成29年3月15日に王子・北とぴあにて開催した。
- ・ 輸送包装研究会 輸送包装ディスカッションを平成28年9月16日に神栄テストマシナリー株式会社本社(つくば)にて開催し、①輸送環境調査の基礎講演、②ディスカッション、③交流会 を実施した。研究会幹事の交代:中嶋(大阪技術研)→川口様(神栄テストマシナリー株式会社)
- ・ MAP研究会 日本包装学会誌26(2)において、総説「MA技術基礎と最近の進展」を紹介。平成28年度を以って研究会を廃止。
- ・ 包装とICT研究会 研究会名の変更:包装とIoT研究会(守備範囲を物流、輸送、消費者包装その他に拡大して発展を図る)。第1回研究会の開催を計画。
- ・ 若手の会 平成28年度発足し、年次大会1日目の夜に、有志による集会(キックオフ)を開催。おおむね40歳以下の若手会員20余名を動員した。幹事:北澤様((国研)農業・食品産業技術総合研究機構)、副幹事:宮田先生(山形大学)。

3-4. 大会運営委員会

日本包装学会第25回年次大会を、平成28年7月7日と8日の2日間にわたって神戸大学百年記念館 六甲ホールにて開催した。参加登録者数246名、口頭発表35件、ポスター発表21件、更に、宇宙開発協同組合SOHLA 杵本理事長を招聘して特別講演を行っていたが、盛況のうちに大会を終えることができた。参加各位からの貴重なご意見・ご要望を踏まえ、第26回年次大会も有意義な大会とすべく準備を進めている。

- ・ 第187回 平成28年1月12日 東京海洋大学
- ・ 第188回 平成28年2月9日 東京海洋大学
- ・ 第189回 平成28年3月8日 東京海洋大学
- ・ 第190回 平成28年4月12日 東京海洋大学
- ・ 第191回 平成28年6月13日 東京海洋大学

第25回年次大会

- ・ 会期:平成28年7月7日、8日
- ・ 会場:神戸大学 百年記念館 六甲ホール他
- ・ 参加登録者数:246名
- ・ 発表数:56件(口頭35件、ポスター21件)
- ・ 特別講演 夢はふたたび宇宙へ 宇宙開発協同組合SOHLA 杵本理事長

- ・ 第192回 平成28年9月16日 東京海洋大学

(以降 第26回年次大会準備)

- ・ 第193回 平成28年10月18日 東京海洋大学

- ・ 第194回 平成28年11月8日 東京海洋大学
- ・ 第195回 平成28年12月12日 東京海洋大学
- ・ 第196回 平成29年1月10日 東京海洋大学
- ・ 第197回 平成29年2月14日 東京海洋大学
- ・ 第198回 平成29年3月14日 東京海洋大学

3-5. 広報委員会

インターネット関連

- ① 学会主催催事(シンポジウム・年次大会・研究会)の開催案内と参加受付をホームページにて行うとともに会員にメールを発信し、告知した。
- ② 下記の事項についてホームページの公開、もしくは公開内容の改訂を実施した。
 - ・ 随時:協賛・後援している催事
 - ・ 学会誌の発行時:最新号の目次
 - ・ 年次大会終了後:維持会員リスト、過去の受賞者リスト、事業報告、事業計画
 - ・ 年度の切り替わり時期:学会誌掲載後1年以上経過した論文
- ③ 「会長のご挨拶」ページのレイアウトとリンクの一部を修正した。

東京パック出展対応

平成28年10月4日～7日 TOKYO PACK2016(東京ビックサイト)に出展し、書籍販売とパンフレットの配布を実施した。

3-6. 国際交流委員会

- ・ IPS'17について「New Biomass Derived Materials and Applications for Agricultural Product and Food Packaging」をテーマに企画立案した。下記の通り海外から2名、国内から1名の講師を招聘し、講演及びパネルディスカッションを行う予定である。
 - ・ Prof. Guru Prasad Mohanta 「Packaging Requirements of Medicines for Distribution: Indian Perspective Perspective」
 - ・ Mr. Takahiro Iwazu 「Child Resistant & Senior Friendly Pharmaceutical Packaging and Preventing Counterfeit Drugs – Understanding Global Trends and Regulations」
 - ・ Mr. Steven Roelandts 「Secure Your Brand – Prevention of Counterfeit」
- ・ 「海外情報」の学会誌掲載
- ・ 海外の研究者から学会誌への投稿推進

3-7. 学会賞等選考委員会

平成28年7月8日神戸大学百周年記念館において、平成27年度日本包装学会奨励賞及び論文賞授賞式を行った。

平成29年3月28日に八重洲倶楽部会議室において、学会賞等選考委員会を開催した。

- ・ 奨励賞の被推薦者(1名)について厳正に審査し、今回は該当者無しとした。
- ・ 投稿論文(対象論文2件)について厳正に審査し、今回は該当者無しとした。
- ・ 日本包装学会功労賞の授賞選考を行い、下記の方を授賞候補者として決定した。

大熊 修 氏

竹村 彰夫 氏

3-8. 財務委員会

平成28年度決算及び平成29年度予算の作成。 毎月の財務状況確認。

3-9. 総務委員会

総会、理事会、会長補佐会議の事務局として学会活動を運営した(詳細 学会運営の経過参照)。

以上のとおり、報告致します。

椎名 武夫	(会長)
永井 一清	(副会長)
伊藤 健一	(副会長)
牧野 義雄	(編集委員長)
北澤 裕明	(企画委員長)
中嶋 隆勝	(研究委員長)
中込 隆	(大会運営委員長)
天野 勉	(広報委員長)
宮田 剣	(国際交流委員長)
竹村 彰夫	(学会賞等選考委員長)
東山 哲	(財務委員長)
牧 伸行	(総務委員長)
白倉 昌	(監事)
広瀬 和彦	(監事)